

一般社団法人 日本応用地質学会  
令和3年度・2021 年度  
第2回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2021 年 8 月 31 日 (火) 15:00~17:30

場 所 : 国際航業株式会社 六番町オフィス会議室、Zoom を用いた Web 会議 (併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、越谷委員、昆委員、加地委員、徳楠委員、水野委員、百瀬委員、百嶋委員、安田委員、山下委員、山田幹事

陪席 : 千木良 IAEG Japan National Group 代表、茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2021 年 6 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

2. 理事会報告

- ・令和 3 年度第 4 回理事会の内容について報告がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG Newsletter 関連

- ・2021 No.2 の内容について説明がなされた。
- ・2021 No.3 の投稿原稿については、令和 3 年度研究発表会(10/14-15)、RMEGV2021(9/9-11)などを素材として作成し、10 月中旬を目処に IAEG 事務局へ提出する。
- ・RMEGV2021 は完全 Web 開催となった。IAEG Newsletter 投稿用の英文参加報告については、シンポジウムのみで作成する。

2) Webinar Call 関連

- ・IAEG へのデータ提供に向けて、講演者の紹介英文を作成する(参考:KSEG 講演時の文面)。

3) アジア各国との交流について

<韓国>

- ・KSEG 秋の研究発表会のスケジュール(11 月頃)について KSEG に確認して会長に情報を共有する。
- ・秋の研究発表会での講演準備について、約 30 分と想定してパワーポイント 30 枚程度(JSEG 紹介&会長の研究紹介)を作成する。その際、事前に韓国国内での応用地質学分野におけるトレンドを調査し、内容への反映を試みる。
- ・KSEG から JSEG への講演受け入れは、コロナ禍が収束する 2022 年度以降とする。来年度(シンポジウム、研究発表会、若手技術者交流会など)に実施する場合は、早めに理事会へ話を通しておく。

<CHINESE TAIPEI>

- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の代表から回答があり、YEGsのメンバー2名を窓口として交流を進めたいとのこと。今後の進め方について、両氏と親交の深い IAEG JapanNG 代表と協議する。なお、JSEG 側の YEGs対応メンバーの増員候補についても検討する。

<その他>

- ・今後、各国との交流を活発化していくことを想定した場合、事前に講演協力して頂ける候補者や災害地質

研究部会(60周年特集記事など)の協力を得た上で、発表用素材(英語版PPT)を常備しておくのが望ましい。

#### 4) IAEG 事務連絡

- ・2021 Council Meeting について、JapanNG として4名での Web 参加を申し込む。
- ・IAEG から打診のあった受賞候補(The First Science And Technology Awards)について、現時点では候補無しとする。

#### 5) IAEG HP 等の記載情報変更

- ・IAEG へ依頼した記載情報変更の内容について説明がなされた。

#### 6) IAEG 会費支払い

- ・会費の支払い結果について説明がなされた。

### (2) その他

#### 1) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・学会誌 12 月号での記事掲載に向けて、9月末を目処に原稿準備を進める。
- ・各委員が興味のある分野、得意な分野(複数可)のヒアリング結果を共有する。
- ・半年に1回程度を目標に、投稿論文の分野別傾向を分析する。
- ・新スタイルでは翻訳時の担当者の負担軽減のため、原稿は最大2ページ程度とする。内容は、各担当が興味のある分野の論文を2、3編紹介するスタイルとし、本編の翻訳とにならないよう留意する。

#### 2) 海外調査団報告書の著作権チェック

- ・HP 上での公開について総務委員会に諮った上で、HP 掲載に向けて対応する。

#### 3) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について

- ・学会事務局外での開催は当面難しいため、まずは Web 形式での開催に向けて準備を進める。
- ・来年度の研究発表会で特別セッションに加えてもらう場合は、来年2月頃までに内容を検討しておく必要がある。

#### 4) ダイバーシティ推進特別委員会

- ・令和 3 年度第 4 回委員会の議事録および学会誌掲載記事について説明がなされた。研究発表会ではアースサロンにて開催予定とのこと。

#### 5) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG\_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

#### 6) 国際会員情報(メールアドレス不明者)

- ・メールアドレス不明の5名について、引き続き情報収集を行う。

### 4. ホームページ関係

#### (1) JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当のうち、掲載コンテンツの検討を担当委員にて進める。
- ・SNS の活用については、広報・情報委員会の動向に合わせて対応する。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供(SNS)や災害調査団写真集コーナー新設(HP)などの対応準備を進める。

#### (2) JSEG 日本語版 HP

- ・更新状況について確認した。引き続き、必要に応じて更新を行う。

5. 海外情報の共有

- ・「海外アラカルト③\_海外プロジェクトにおける地質技術者の役割」について紹介がなされた。
- ・次回委員会以降でも継続するため、海外業務の経験豊富な委員への協力を要請する。

6. その他

- ・次回委員会(令和3年度\_第3回)は、令和3年10月末に開催する方向で調整する。

以 上